



## 一度は読みたい絵本



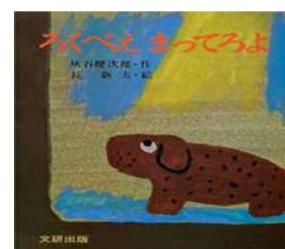
寒さが一段と厳しく生活様式も制限が続き、気持ちが暗くなりがちですが、少しでも心が明るくなるような本を、「おはなし会」を担当しているボランティア団体さんから紹介してもらいました。少しでも早く元の生活に戻れると良いですね。

### ◎【ろくべえまってるよ】 灰谷健次郎 作 長新太 絵 文研出版

穴に落ちた子犬のろくべえ。子供たちが知恵を出し合い協力して

ろくべえを助け出そうとする物語です。次から次へ出てくる

面白いアイデアには思わずクスッとしてしまいます。 《あいあい》



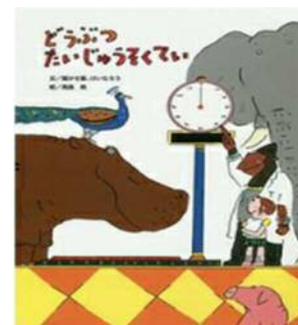
### ◎【どうぶつたいじゅうぞくてい】 聞かせ屋。けいたろう 作 高島純 絵 アリス館

今日は動物園の体重測定の日。体の重さを測ります、

最初はパンダ。次はぶた。ぶたは嫌がって測れません。どうしたのかな？

色々な動物が登場しますが、その反応が楽しいです。そして動物たちの

重さを数字であらわしているのがとてもリアルです。 《おおきな木》



### ◎【ぶたのトントン】 キャロライン・ジェイン・チャーチ 作

石津ちひろ 訳 大日本図書

「いつかとべるようになるんだ！」とトントンは毎日練習。

でも失敗ばかり。牧場の動物たちは相談してトランポリンを

作ってあげます。トントンはとべるようになるのかな？

《だるまさんの会》



ぜんぶ、大師図書館に所蔵のある絵本です。ぜひご覧になってください。

貸出中でしたらごめんなさいね。予約することもできますよ。

大師図書館カウンターにお声をかけてください。